

## 工法の性能

### 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル適合工法

試験項目		試験結果	規格 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル (R5年3月版)
<b>■A種 (A工法)</b>			
外観		適合	被覆にしわ・むら・はがれ・割れがないこと。
コンクリート接着性	標準状態	3.1N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸水状態	2.8N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
耐硫酸性		適合	pH3の硫酸水溶液に30日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
耐有機酸性	外観	適合	10%の酢酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
	浸漬後の強度	HBI <sub>10</sub> :70 (HBI-B) HBI <sub>0</sub> :72 (HBI-B) HBI <sub>10</sub> :70≥43	10%の酢酸水溶液と水(いずれも23°C±2°C)に60日浸漬し、 パーコル硬さが以下を満たすこと HBI <sub>10</sub> ≥HBI <sub>0</sub> ×0.6 HBI <sub>10</sub> :10%の酢酸水溶液に浸漬した時のパーコル硬さ
耐アルカリ性		適合	水酸化カルシウム飽和水溶液に30日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
透水性		0.00g	透水量 0.3g以下
<b>■B種 (B-1工法)</b>			
外観		適合	被覆にしわ・むら・はがれ・割れがないこと。
コンクリート接着性	標準状態	3.4N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸水状態	3.3N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
耐硫酸性		適合	pH1の硫酸水溶液に30日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
耐有機酸性	外観	適合	10%の酢酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
	浸漬後の強度	HBI <sub>10</sub> :74 (HBI-B) HBI <sub>0</sub> :75 (HBI-B) HBI <sub>10</sub> :74≥45	10%の酢酸水溶液と水(いずれも23°C±2°C)に60日浸漬し、 パーコル硬さが以下を満たすこと HBI <sub>10</sub> ≥HBI <sub>0</sub> ×0.6 HBI <sub>10</sub> :10%の酢酸水溶液に浸漬した時のパーコル硬さ
耐アルカリ性		適合	水酸化カルシウム飽和水溶液に30日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
透水性		0.00g	透水量 0.25g以下
<b>■C種 (C-1工法)</b>			
外観		適合	被覆にしわ・むら・はがれ・割れがないこと。
コンクリート接着性	標準状態	2.7N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸水状態	3.0N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
耐硫酸性		適合	10%の硫酸水溶液に45日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
耐有機酸性	外観	適合	10%の酢酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
	浸漬後の強度	HBI <sub>10</sub> :76 (HBI-B) HBI <sub>0</sub> :79 (HBI-B) HBI <sub>10</sub> :76≥47	10%の酢酸水溶液と水(いずれも23°C±2°C)に60日浸漬し、 パーコル硬さが以下を満たすこと HBI <sub>10</sub> ≥HBI <sub>0</sub> ×0.6 HBI <sub>10</sub> :10%の酢酸水溶液に浸漬した時のパーコル硬さ
耐アルカリ性		適合	水酸化カルシウム飽和水溶液に45日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
透水性		0.00g	透水量 0.2g以下
硫黄侵入深さ		2μm以下	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬した時の侵入深さが設計厚さに対して10%以下かつ200μm以下であること
<b>■D種 (D-1工法)</b>			
外観		適合	被覆にしわ・むら・はがれ・割れがないこと。
コンクリート接着性	標準状態	3.0N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸水状態	2.5N/mm <sup>2</sup> (基盤破壊)	1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
耐硫酸性		適合	10%の硫酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
耐有機酸性	外観	適合	10%の酢酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
	浸漬後の強度	HBI <sub>10</sub> :77 (HBI-B) HBI <sub>0</sub> :79 (HBI-B) HBI <sub>10</sub> :77≥47	10%の酢酸水溶液と水(いずれも23°C±2°C)に60日浸漬し、 パーコル硬さが以下を満たすこと HBI <sub>10</sub> ≥HBI <sub>0</sub> ×0.6 HBI <sub>10</sub> :10%の酢酸水溶液に浸漬した時のパーコル硬さ
耐アルカリ性		適合	水酸化カルシウム飽和水溶液に60日間浸漬しても、被覆に膨れ・割れ・軟化・溶出がないこと
透水性		0.00g	透水量 0.15g以下
硫黄侵入深さ		2μm以下	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬した時の侵入深さが設計厚さに対して5%以下かつ100μm以下であること

施工代理店



本社 〒571-0030 大阪府門真市末広町8-13 TEL 06-6909-6755 (代) FAX 06-6909-6702  
 東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-14 TEL 03-3436-3801 (代) FAX 03-3436-3803  
 岡山工場 〒709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1 TEL 0868-38-5151 (代) FAX 0868-38-3745  
 ホームページアドレス <https://www.dainichikasei.co.jp>



本パンフレット記載の製品写真は、印刷物のため実際の色とは多少異なります。  
 本パンフレットは、一部植物油インキを使用しています。



KENE-547K

下水道処理施設  
 コンクリート防食工法  
 無溶剤型エポキシ  
 樹脂塗料

# スカイレジ ファインエポキシシステム

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術  
 マニュアル(令和5年3月版)適合工法



SKYRESIN FINEEPO SYSTEM

# 独創の技術が明日を拓く

## SKYRESIN FINEEPO SYSTEM

スカイレジンファインエポシステムは、優れた耐薬品性、耐水性を有し、下水道施設のコンクリートの腐食を抑制します。大日化成は長年の実績を踏まえ、日々研究・開発に取り組み、優れた製品を数多くのユーザーの皆様にご満足して頂けるように取り組んでいます。

### 特長

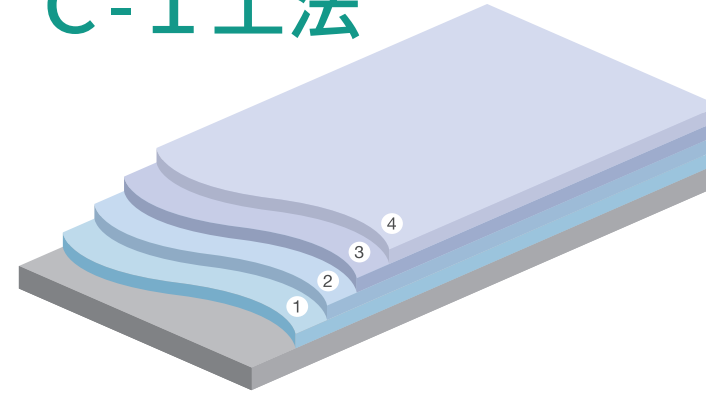
1. 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル(令和5年3月版)に適合します。
2. 耐薬品性、耐水性に優れています。
3. 硫酸および有機酸に対して高い抵抗性を有しています。
4. 有機溶剤を含まない無溶剤型エポキシ樹脂のため、安全に作業ができます。
5. 硬化後の体積収縮がほとんどありません。

### ■工法別施工可能面積

工法	スカイレジンEPC-T 20kgセット	スカイレジンAQプライマー 8kgセット	スカイレジンFE-2000 15kgセット	スカイレジンFE-3000 15kgセット
A	20m <sup>2</sup>	53.3m <sup>2</sup>	—	37.5m <sup>2</sup>
B-1	20m <sup>2</sup>	53.3m <sup>2</sup>	—	25.0m <sup>2</sup>
C-1	20m <sup>2</sup>	53.3m <sup>2</sup>	18.75m <sup>2</sup>	37.5m <sup>2</sup>
D-1	20m <sup>2</sup>	53.3m <sup>2</sup>	9.375m <sup>2</sup>	37.5m <sup>2</sup>

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル C種

## C-1工法

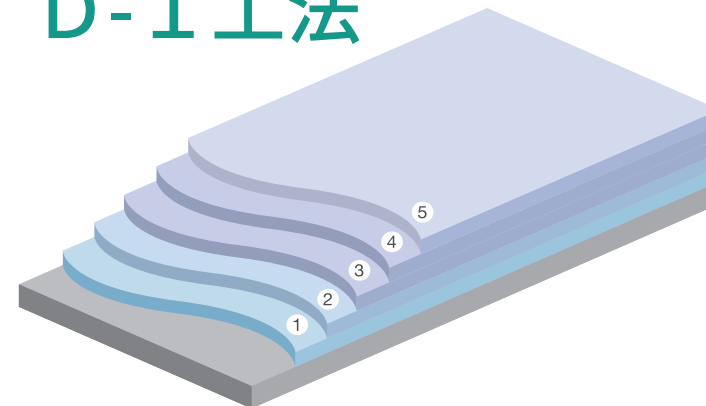


### 工程

- 下地処理(別途)
- 1 素地調整材(1.0kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンEPC-T 主剤:硬化剤 = 3:1
  - 2 プライマー(0.15kg/m<sup>2</sup>) [ローラー塗り]  
スカイレジンAQプライマー 主剤:硬化剤 = 1:1
  - 3 防食材 上塗り①(0.80kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-2000 主剤:硬化剤 = 4:1
  - 4 防食材 上塗り②(0.40kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-3000 主剤:硬化剤 = 4:1
- 設計厚/0.70mm以上(硬化後厚さ)

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル D種

## D-1工法



### 工程

- 下地処理(別途)
- 1 素地調整材(1.0kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンEPC-T 主剤:硬化剤 = 3:1
  - 2 プライマー(0.15kg/m<sup>2</sup>) [ローラー塗り]  
スカイレジンAQプライマー 主剤:硬化剤 = 1:1
  - 3 防食材 上塗り①(0.80kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-2000 主剤:硬化剤 = 4:1
  - 4 防食材 上塗り②(0.80kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-2000 主剤:硬化剤 = 4:1
  - 5 防食材 上塗り③(0.40kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-3000 主剤:硬化剤 = 4:1
- 設計厚/1.30mm以上(硬化後厚さ)

## 性能・使用材料

### ■性状

可使時間	FE-2000S(夏用)	FE-2000W(冬用)	FE-3000S(夏用)	FE-3000W(冬用)
	約50min(23°C)	約50min(10°C)	約50min(23°C)	約50min(10°C)
混合物の比重	1.4	1.4	1.4	1.4
混合物の粘度(mPa・s)	20,000(23°C)	63,000(10°C)	30,000(23°C)	162,000(10°C)
混合物の色	灰黄色(日塗工2021年L版:L27-70D近似色※)		灰黄色(日塗工2021年L版:L27-70D近似色※)	

※日光や投光器の光などで色調が変化しますが性能上問題ありません。

### ■防食被覆材料の品質

「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル令和5年3月」 付属資料2による試験結果

項目	社内試験結果
容器の中での状態	主剤、硬化剤ともかき混ぜたとき、塊がなく一様である
混合性	定められた調合比率で混合したとき、均質に混合する
作業性	塗装作業に支障がない
乾燥時間	16時間以内
可使時間	上表で規定された各材料の可使時間内で、塗り付け作業性及び塗膜の外観に異常がない
塗膜の外観	乾燥後、しわ、むら、はじき、ふくれ、割れ、はがれがなく正常である

### ■使用材料

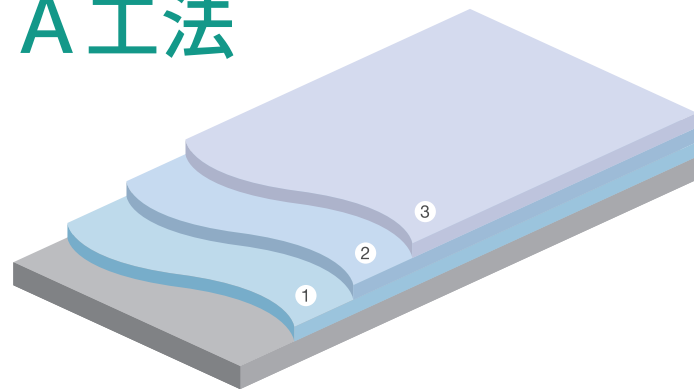
#### A工法・B-1工法・C-1工法・D-1工法

工程	製品名	荷姿	備考
素地調整材	スカイレジン EPC-T	主剤/15kg・硬化剤/5kg	標準厚/0.5~2.0mm
上塗り	スカイレジン FE-2000	主剤/12kg・硬化剤/3kg	缶入り
上塗り	スカイレジン FE-3000	主剤/12kg・硬化剤/3kg	缶入り
補修材	スカイレジンAQパテ	主剤/20kg・硬化剤/10kg	缶入り
プライマー	スカイレジンAQプライマー	主剤/4kg・硬化剤/4kg	ポリ容器入り

※各工法の施工上の注意等については、別紙標準施工要領書をご参照ください。

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル A種

## A工法

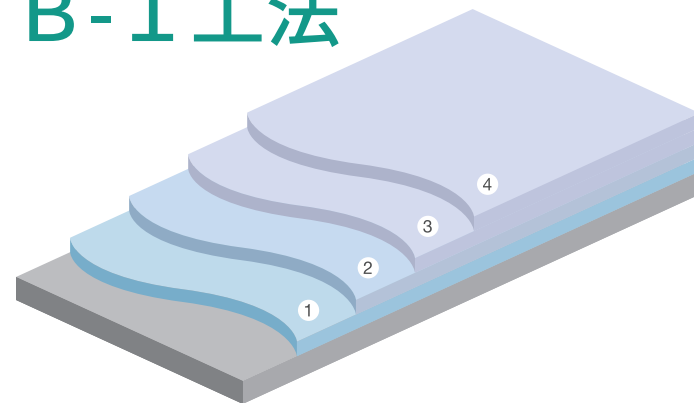


### 工程

- 下地処理(別途)
- 1 素地調整材(1.0kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンEPC-T 主剤:硬化剤 = 3:1
  - 2 プライマー(0.15kg/m<sup>2</sup>) [ローラー塗り]  
スカイレジンAQプライマー 主剤:硬化剤 = 1:1
  - 3 防食材 上塗り(0.40kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-3000 主剤:硬化剤 = 4:1
- 設計厚/0.20mm以上(硬化後厚さ)

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル B種

## B-1工法



### 工程

- 下地処理(別途)
- 1 素地調整材(1.0kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンEPC-T 主剤:硬化剤 = 3:1
  - 2 プライマー(0.15kg/m<sup>2</sup>) [ローラー塗り]  
スカイレジンAQプライマー 主剤:硬化剤 = 1:1
  - 3 防食材 上塗り①(0.20kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-3000 主剤:硬化剤 = 4:1
  - 4 防食材 上塗り②(0.40kg/m<sup>2</sup>) [鍍塗り]  
スカイレジンFE-3000 主剤:硬化剤 = 4:1
- 設計厚/0.35mm以上(硬化後厚さ)